

第39回日本レーザー医学会

会期:2018年11月1日、2日

場所:東京(京王プラザホテル)



テーマ:

「レーザーが切り拓く新医療」

会長講演: 古川欣也 「レーザー医療の進歩と今後の展開」

招聘講演: Tayyaba Hasan MGH

「Photodynamic activation: an enabler of cancer therapeutics」

教育講演:

三浦雅博 東京医科大学茨城医療センター 「光干渉断層計 今後の展開」

片岡洋望 名古屋市立大

「糖連結光感受性物質による次世代光線力学療法開発の試み」

日本光線力学学会、日本脳神経外科光線力学との3学会を同一会場で同時開催した。基礎系、臨床系の様々な専門家が一同に集う学術集会となった。それぞれの専門の立場からよりよいレーザー医療の在り方を議論できる場となった。Asian Joint PDT Symposiumも開催した。今後の各学会の方向性を考える学術集会になった。

東京医科大学茨城医療センター・呼吸器外科 古川欣也

(敬称は省略させていただきました)